

2.8 その他の事項

1) 廃棄物の状況

(1) 一般廃棄物処理の状況

平成22年度における対象地域のごみの排出量とリサイクル率は、表4-2-41に示すとおりである。ごみの排出量は、東海市は約3.9万t/年、知多市は約2.9万t/年、常滑市は約2.3万t/年である。リサイクル率は東海市で約29%、知多市は約17%、常滑市は約16%となっている。

ごみ焼却施設については、平成24年現在、東海市では処理能力160t/日のごみ焼却施設、処理能力33t/日の粗大ゴミ処理施設が、知多市では130t/日のごみ焼却施設、処理能力35t/日の粗大ゴミ処理施設が、常滑市では「常滑武豊衛生組合」を構成し150t/日のごみ焼却施設、処理能力25t/日の粗大ゴミ処理施設が整備されている。

し尿処理施設については、東海市及び知多市では「西知多医療厚生組合」を構成し処理能力100kL/日の施設が、常滑市では半田市等と「中部知多衛生組合」を構成し処理能力220kL/日の施設が設置されている。

なお、対象区域にはリサイクル施設として知多市リサイクルプラザ（南浜町）、最終処分場として東海市に東犬久利最終処分場がある。

表4-2-41 ごみの排出量とリサイクル率（平成22年度）

市名	総排出量（収集ごみ量+直接搬入ごみ量+自家処理量+集団回収量）（t/年）											リサイクル率（%）
	総計	左記の 一日当たりの ごみの一人 の量 (g/人・日)	収集ごみ量						直接搬入 ごみ量	自家処理量	集団回収量	
			計	可燃ごみ量	不燃ごみ量	資源ごみ量	その他ごみ量	粗大ごみ量				
東海市	39,414	993	30,011	25,474	1,539	2,521	20	457	5,539	0	3,864	29.3
知多市	29,035	918	22,815	18,673	1,518	2,562	0	62	5,322	0	898	17.2
常滑市	23,183	1,142	19,588	15,980	959	2,649	0	0	2,587	0	1,008	15.8

出典：「平成22年 一般廃棄物処理事業実態調査」（平成24年、愛知県）

(2) 産業廃棄物処理の状況

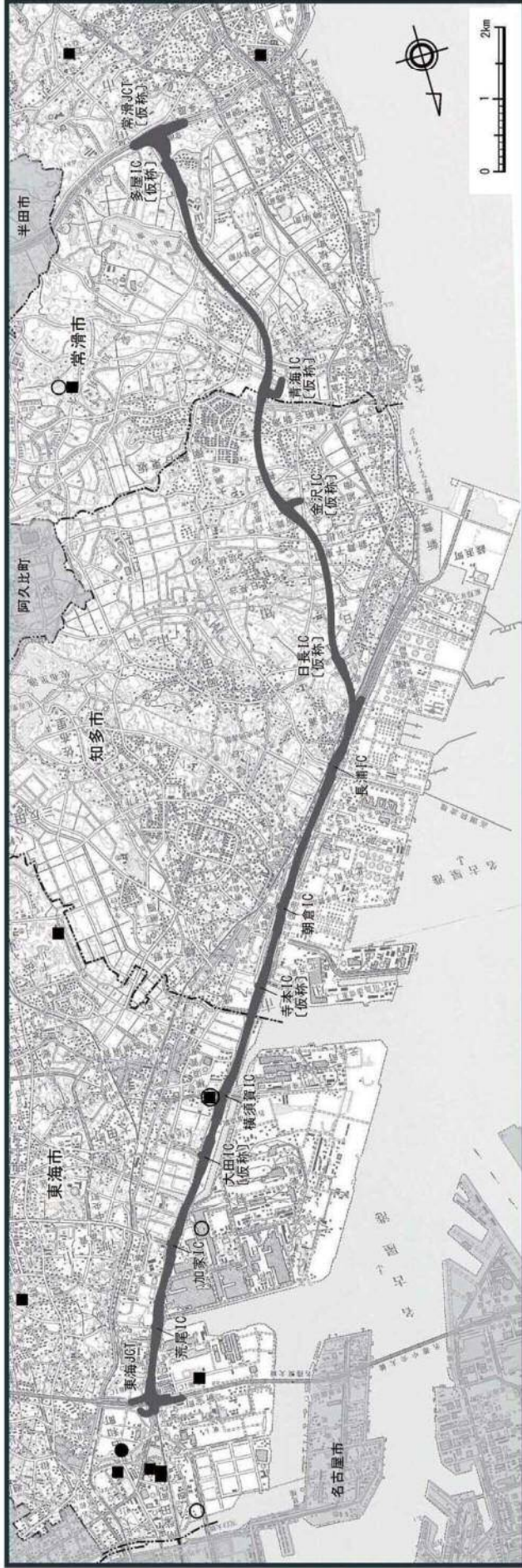
愛知県の産業廃棄物の発生量、中間処理による減量化量及び資源化量は増加傾向にあるが、最終処分量は減少傾向にある。平成22年度の産業廃棄物発生量は、18,742千tであり、その約76%が資源化量、約18%が減量化量、約6%が埋立処分量となっている。

愛知県における産業廃棄物処理施設（法に基づく許可が必要な施設）は、1,101施設（平成24年3月現在）となっており、このうち汚泥の脱水施設や廃プラスチック類の焼却施設等の中間処理施設が994施設、最終処分場が107施設となっている。

出典：「平成24年版 環境白書」（愛知県）

(3) 再資源化等施設の立地状況

対象区域における再資源化施設の立地状況は、図4-2-34に示すとおりである。



凡例	
記号	名称
○	コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の専用処理施設
●	木くずの専用処理施設
■	コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び木くずの専用以外の処理施設

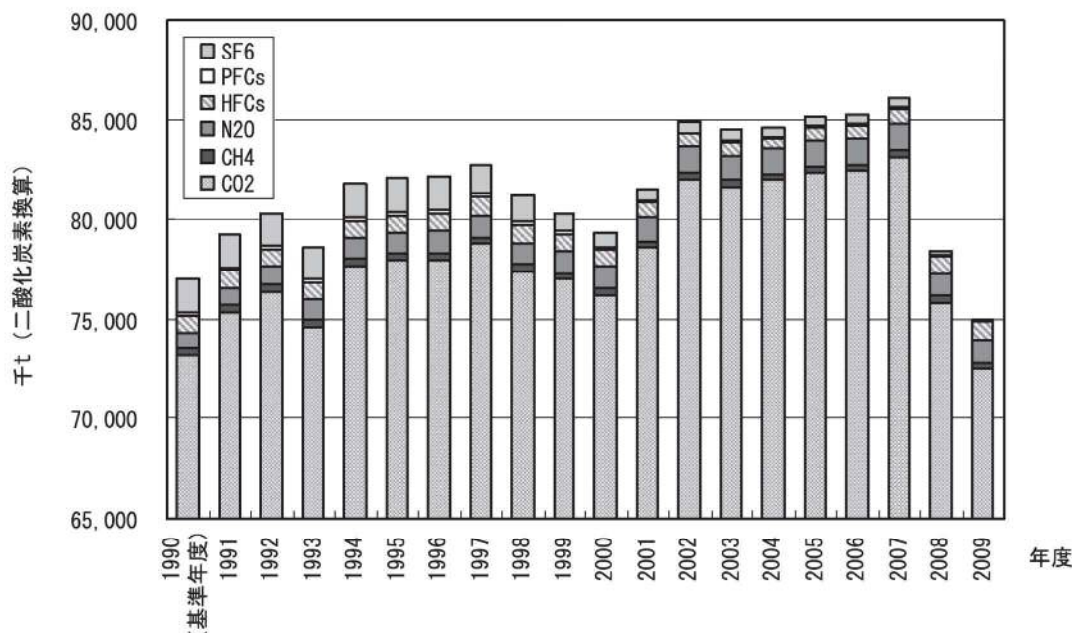
凡例	
——	都市計画対象道路事業実施区域
- - - -	行政界

図4-2-34 再資源化等施設の立地状況

2) 温室効果ガス等の状況

(1) 温室効果ガスの発生状況

2009年の愛知県の温室効果ガス総排出量は、75,008千t（二酸化炭素換算）であり、京都議定書による基準年度（1990年度。ただしHFCs、PFCsおよびSF₆については1995年度）の総排出量77,012千tと比べ2.6%減少している。また、前年度に比べると4.3%減少している（図4-2-35参照）。



備考) 算定方法の見直し、過去の統計データの改定に伴い、基準年度まで遡って排出量を算出
 出典：「愛知県の温室効果ガス排出量」（愛知県）

図4-2-35 温室効果ガス総排出量の推移（愛知県）

(2) 地球温暖化対策の概要

愛知県では、全国に先駆けて策定した「あいちエコプラン21」（平成6年）に始まり、「あいちエコプラン2010」（平成12年）、「あいち地球温暖化防止戦略」（平成17年）を掲げ、温室効果ガスの削減など地球温暖化対策を推進してきたが、その目標年次を迎えたこと、また本格的な低炭素社会の実現に向けた更なる取組が求められていることから、新たに、2020年度を目標年次とした「あいち地球温暖化防止戦略2020」（平成24年）が策定された。

今回策定された戦略では、2050年頃に持続可能な低炭素社会をつくることを長期的な目標とし、2020年度の温室効果ガス排出量を1990年度比で15%削減するという意欲的な目標の下、愛知県の地域特性を活かしつつ、「再生可能エネルギーと省エネルギーによるゼロカーボンライフへの挑戦」、「産業・製品の低炭素化の推進」、「低炭素社会を支える都市・地域基盤づくり」、「低炭素化への意識・行動変革の推進」という4つの取組方針が定められている。

3) 公害に関する苦情の状況

3市の公害苦情処理件数は、表4-2-42に示すとおりである。苦情処理は、大気汚染、騒音、悪臭に関するものが多い。

表4-2-42 公害苦情処理件数（平成23年度）

単位：件

市名	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	土壌汚染	小計	その他	合計
東海市	44	4	20	3	11	0	0	82	0	82
知多市	17	3	5	0	0	0	0	25	1	26
常滑市	33	3	6	2	11	0	0	101	0	101

備考1) 東海市のその他は犬猫に関するもの。

2) 知多市のその他はごみ、雑草、動物のマナー、ポイ捨てに関するもの。

3) 常滑市のその他の内訳は不明。

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成24年版」（知多市）

「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）